文部科学省　情報ひろば　『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

毎月第４金曜日の夜にサイエンスカフェを定期開催しています。
平成２３年度・第３回を、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日　時	平成２３年６月２４日（金）　１９：００～２０：３０
場　所	文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎１階）
主　催	日本学術会議、文部科学省
講　師	経塚　淳子（東京大学大学院農学系研究科　准教授）
ﾌｧｼﾘﾃｰﾀ	渡辺　政隆（日本学術会議連携会員、JSTエキスパート）
テーマ	「百花繚乱のなぞ　～花の見かけは遺伝子で決まる～」
定　員	３０名
参加費	無　料

街角などで花を見かけると、思わず心が和みます。

でも考えてみると不思議です。花の色や形は、なぜあんなに多様で美しいのでしょう。ただ、よく見るとそこにはなんとなく規則性もあるような・・・。そうした違いや共通性は何が決めているのでしょうか。

じつは、花の形はすべて遺伝子によって決まっています。高校の教科書にも出ているＡＢＣモデルと呼ばれる基本原理によって決まっているのです。その原理は、単純な形の花から複雑な形をした蘭の花まで、すべての植物に共通しています。シンプルな基本型から、無限にも近い多様な形が進化したのです。まるで自然は、１つの主旋律にちょっとした変奏を加えることで多様なメロディーを奏でているかのようです。この仕組みを利用すれば、八重咲きなどの美しい園芸品種を作り出すことも可能です。

さまざまな花を思い浮かべながら、進化が生み出した多様性と、それを可能にした単純な仕組みのすごさについて、一夜思いを馳せてみませんか。